平成 29 年6月 11 日（日）

四季の森公園自然観察会「花菖蒲の季節の動植物」

新緑の林縁でみられる花を訪ねてみましょう！

NPO 法人四季の森里山研究会　担当：尾崎、宮下、江頭、大塚

〇林縁（マント群落）のつる植物　　〈観察〉どんなつる性植物があるのか観察

〇ハナショウブとアヤメ科の花

今、菖蒲田では様々な花菖蒲が満開です。

花菖蒲はノハナショウブの園芸種です。江戸時代、様々な改良種が作られました。

アヤメ	カキツバ	ノハナショウブ	花ショウブ	ショウブの花

アヤメ：通常の土に育ちます。花にはアヤメ模様が特徴。

カキツバタ：水辺に育ちます。花びら根本に白い切れ込みがある。葉は平らで幅広い。

ノハナショウブ：水辺に育ちます。花びら根本に黄色い切れ込みがある。
葉の中央が盛り上がっている。**(花菖蒲も同じ)**

〈観察〉アヤメ科の花の構造を観察　　※ショウブはサトイモ科

〇林縁でみられる植物

林縁にはたくさん花が見られます。それぞれの花の特徴を観察してみましょう。

アジサイ	ツユクサ	ホタルブクロ	タチアオイ	ヘビイチゴ

〈観察〉ドクダミの不思議を観察　（ドクダミ）

〇昆虫の幼虫　穴の開いた葉、一部ちぎれた葉を観察

〇ホタル　　夕方７時３０分頃から芦原の周辺に見られます。

次回は、７月９日(日)「森林浴でリフレッシュ」です。